

## 平成 29 年度 東京都内湾水生生物調査 2 月稚魚調査 速報

### ●実施状況

平成 30 年 2 月 14 日に稚魚調査を実施した。天気は快晴～晴で、気温 7.3～10.5℃、南寄りの風 0～3.6m/s であった。当日は大潮で、5 時 05 分に満潮、10 時 30 分に干潮であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

今回の調査では、全調査地点において先月産卵し着底したと思われるイシガレイの稚魚が確認され、お台場以外の 2 地点で昨年秋降下したと思われるアユの稚魚が確認された。また、城南大橋を中心に春季に多数確認される、ビリンゴやウキゴリ類等の孵化仔魚も確認できた。

2018/2/14	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
作業時刻	8:50～9:35	10:20～10:50	12:00～13:00
水温 (°C)	8.3	10.9	12.7
塩分	27.3	23.0	20.0
透視度 (cm)	100 以上	80	72
DO (mg/L)	8.5	8.0	11.0
DO 飽和度 (%)	88.5	84.4	112.7
波浪 (m)	0.1 未満	0.1 未満	0.1
pH	8.0	7.6	8.2
水の臭気	下水臭 (弱)	下水臭 (弱)	下水臭 (弱)
備考			

注) 塩分、DO、pH の値は計器測定値。

### ●主な出現種等(速報のため、種名等は未確定)

主な出現種等	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
魚種 (多い順注)	ヒメハゼ (r)	ウキゴリ類 (c)	アシシロハゼ (c)
	メバル属 (r)	ビリンゴ (+)	アユ (+)
	イシガレイ (r)	アユ (+)	スズキ (+)
	シモフリシマハゼ (r)	イシガレイ (+)	イシガレイ (r)
	ビリンゴ (r)	スズキ (r)	ヒメハゼ (r)
魚類以外	クロイサザアミ (c)	クロイサザアミ (m)	クロイサザアミ (G)
	エビジャコ属 (+)	ニホンイサザアミ (m)	ニホンイサザアミ (m)
備考	ケンミジンコ類 (動物プランクトン) が多く捕獲された。	最干時の潮位が高く、干潟は干出しなかった。	

注) 表中の ( ) 内の記号は大まかな個体数を表す。G:1000 個体以上、m:100～1000 個体未満、c:20～100 個体未満、+:5～20 個体未満、r:5 個体未満

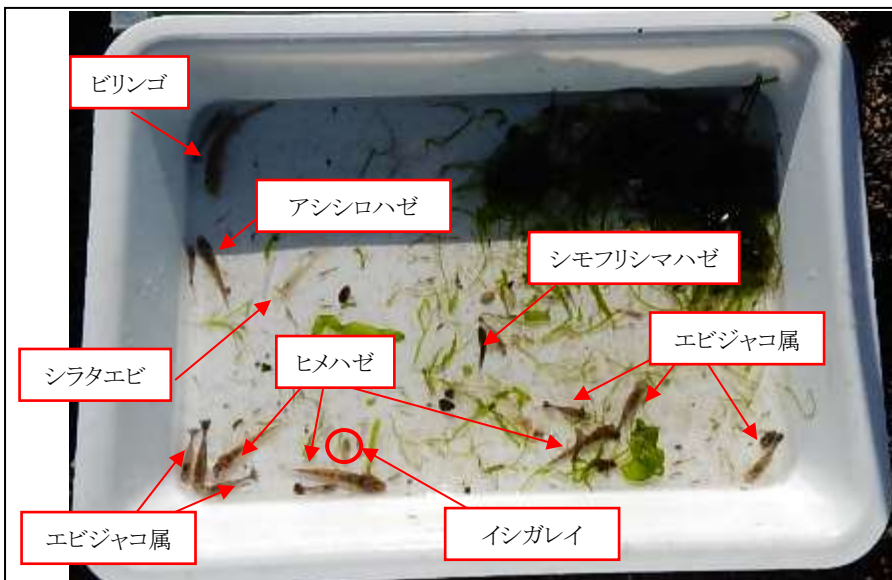
## お台場海浜公園 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子



地曳網では前回調査同様、ヒメハゼ、ビリンゴ、アシシロハゼ等が少量捕獲された。その他、イシガレイ、シモフリシマハゼ等の稚魚が確認された。

魚類以外では、シラタエビ、クロイサザアミ、エビジャコ属等が捕獲された。

捕獲された稚魚等に混じって、動物プランクトンのケンミジンコ類や、緑藻のアオノリ類が確認された。

捕獲された主な稚魚等

	<p>ヒメハゼ 東京湾干潟の代表的な小型のハゼ。河口やそれに続く干潟に生息する。食性は動物食である。産卵は春から夏にかけて行われる。</p>		<p>メバル属 全長 10mm未滿の仔魚で、持ち帰った試料内から確認された。成魚は東京都内湾では磯浜や消波ブロック周りに生息する。</p>
	<p>イシガレイ 東京湾の干潟では、稚魚は例年春季に多く出現する。2月に確認されたことから今年の産卵は若干早かったと推定される。</p>		<p>シモフリシマハゼ 東京都内湾の干潟から磯浜に多く生息する。成長すると容易に区別できるが、小型の個体では近縁種のチチブとの区別が難しい。</p>

## 城南大橋 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子



地曳網では、前回調査同様、ヒメハゼ、アユが捕獲された。

その他、例年は春季に確認されるスズキ、イシガレイ稚魚やウキゴリ類、ピリンゴの仔魚等が確認された。

魚類以外では、クロイサザアミ、ニホンイサザアミ、エビジャコ属等が捕獲された。

### 捕獲された主な稚魚等

	<p>アユ 東京湾に注ぐ多摩川で孵化し、海に降下した仔魚を捕獲したと推定される。前回調査より大きさは若干大きくなっていた。</p>		<p>スズキ スズキの産卵期は、晩秋から早春なので、この稚魚は今年生まれた個体と思われる。例年4月調査で多く捕獲される。</p>
	<p>ウキゴリ類 出現するウキゴリの類は、ウキゴリとスミウキゴリの2種だが、区別は難しい。成長とともに河川に遡上する。</p>		<p>ピリンゴ ウキゴリ類とともに、持ち帰った試料内から確認された。東京都内湾干潟の代表的な種で稚魚は春季に多く出現する。</p>

## 葛西人工渚 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子



地曳網では、前回調査同様に、アシシロハゼ、アユ、ヒメハゼが捕獲された。その他、イシガレイ、スズキ等が確認された。魚類以外では、クロイサザアミ、ニホンイサザアミ、エビジャコ属、ハマグリ、シオフキ等が捕獲された。

### 捕獲された主な稚魚等

	<p><b>アシシロハゼ</b> 北海道から九州に分布。産卵期は5～9月で、東京湾では6～7月と9月にピークが見られる。本調査地点では前回に引き続き、比較的多く確認された。</p>		<p><b>アユ</b> 捕獲された個体は、最大と最少の大きさを比較すると、かなりの差があった。これは早生まれと遅生まれの個体による差と、推測される。</p>
	<p><b>クロイサザアミ</b> かなり低塩分に適応し、関東地方では利根川河口、東京湾に生息する。本調査地点では、冬季に個体数が増加する傾向が認められた。</p>		<p><b>ハマグリ</b> 本調査地点では、しばしば大型の個体が、確認されている。放流されたものが成長した可能性もある。</p>